

建設関係13団体新年会

真に必要な社会資本整備など

野村会長「効果的な政策を」

建設関係13団体の新年賀詞交換会が5日、東京都港区の東京プリンスホテルで開かれ、年頭の挨拶に立った日本建設業団体連合会(日建連)の野村哲也会長は「写真は、『公共・民間投資の大幅な減少が続く中、とりわけ気になるのが(製造業をはじめとする)国内企業の海外流出だ』と懸念を示した上で、政府に対して『真に必要な社会資本の整備、維持・更新の前倒しを含め、多くの国民が景気回復を実感で

来るよう、効果的な政策を切れ目なく実行すべき』と訴えた。一方「各団体でも、地域貢献や建設技能者の確保といった基本的な取り組みを、着実に進めていかなければならない」と呼び掛けた。

来賓の池口修次国土交通副大臣は、「建設産業行政の使命は、社会資本整備のあるべき姿を国民に分かりやすく示すことである。だが、経済成長が低迷している現状を考えると、今の社会資本整備重点計画は抜本的に見直さざるを得ない」とし、

「業務用電化厨房セミナー」を主催。参加無料。九州電力(株)鹿児島支店営業部エネルギーサポートグループは1月から3月までの期間、鹿児島市の鹿児島商工会議所ビルイリス鹿児島内のeキッチンスタジオで計4回の「業務用電化厨房セミナー」を開催。参加無料。

九州電力(株)鹿児島支店営業部エネルギーサポートグループは1月から3月までの期間、鹿児島市の鹿児島商工会議所ビルイリス鹿児島内のeキッチンスタジオで計4回の「業務用電化厨房セミナー」を開催。参加無料。

「電化厨房を使った新調理実演」が1月20日、「電化厨房・新調理システムの活用」が2月4日に実施。「冷却調理セミナー」が3月4日、「スチコンを使った調理

高強度コンクリート大臣認定仕様 不適合 2社を発表 国交省 国土交通省は12月24日、神奈川太平洋生コンとタスコ株式会社が出荷した高強度コンクリートに大臣認定仕様に適合しないものがあつたと発表し

た。神奈川太平洋生コンの案件は、10月に通報があつたものの、凝結時間の品質基準を満たさない普通ポルトランドセメント(トクヤマ製)を使用していた。しかし、JIS規格の基準値を満たすとともに、強度試験の結果から、性能に支障はないと判断した。一方、タイコ株式工

場の案件では12月に同社から通報があつた。けい酸三カルシウムの品質基準を満たさない中層熱ポルトランドセメント(太平洋セメント製)を使用していた。しかし、JIS規格の基準値を満たし、大臣認定の基準の下限を1%下回る程度であつたことなどから、性能に支障はないと判断した。



大みそか早朝から降り始めた雪は、平野部で5cm、山間部では30cm以上、多いところでは50cm近くにも及び、鹿児島地方気象台では年末の降雪量としては観測史上最高と発表。主要幹線では、大みそか未明からの降雪により車両が往来できない状況になったほか、各地で渋滞が発生し、完全に流通が寸断された。これを受けて、県、市町村、建設業者とも迅速に対応した。管内の国道、県道、市道などアクセス道路の復旧に、年末から年明けに

このうち、県建設業協会の日置支部(西郷進一支部長)、加世田支部(大坪稔明支部長)、指宿支部(福永昭一支部長)では、県道、市道に至る地域住民のライフラインを確保するために緊急出動した。特に山間部では、特殊車両でなければ通行できないほど雪が堆積。悪天候は元日未明まで続き、グレーダーを使った作業は難航した。2日、ようやく天候が回復したものの、気温がほとんど上がらないために路面のほとんどがアイスバーン状態になり、融雪剤を散布しながら除雪作業が続いた。写真①、②。

また、地元自治体も復旧作業に尽力。日置市では、年末からの復旧作業に当たっている建設業の活動状況を聞いた宮路高市市長が、職員らに緊急出動を指示。元日から、地元建設業者と共に市内幹線道路の復旧作業に当たったほか、指宿市や南九州市、枕崎市や南さつま市でも、各市長の指示を受けた職員らが休日返上し、地元建設業者と共に復旧作

た。連日の復旧作業により一部の地区で制限があるものの、5日現在ではほとんどの幹線道路で通行が可能となった。写真③。

県建設業協会指宿支部の福永支部長は「受発注の双方が協力し合えば、地域住民の生活を守る事ができるといことを、今回の豪雪被害が証明してくれた」と語った。

九州経済産業局は26日午後1時30分から、福岡市の同局で住宅エコポイント制度の期間延長と対象拡充に関する事業者向け説明会を開く。参加費無料。定員50人。申し込みは21日まで、所定の申込書に必要事項を記入し、ファクス(092・482・5538)で受け付ける。

11日、安全大会 県建設物解体業連合会(斜木拓会長)は11日午前9時30分から、鹿児島市の護国神社で安全祈願祭および安全大会を開く。

建設業 豪雪被害で緊急出動

22年12月31日の早朝、日本列島を襲った強い寒気団は西日本を直撃。本県も記録的な大雪に見舞われ、陸・海・空の交通機能がまひした。各地区では、完全にストップしてしまった幹線道路の復旧を図ろうと、建設業を中心に休日返上で緊急出動した。

このうち、県建設業協会の日置支部(西郷進一支部長)、加世田支部(大坪稔明支部長)、指宿支部(福永昭一支部長)では、県道、市道に至る地域住民のライフラインを確保するために緊急出動した。特に山間部では、特殊車両でなければ通行できないほど雪が堆積。悪天候は元日未明まで続き、グレーダーを使った作業は難航した。2日、ようやく天候が回復したものの、気温がほとんど上がらないために路面のほとんどがアイスバーン状態になり、融雪剤を散布しながら除雪作業が続いた。写真①、②。

また、地元自治体も復旧作業に尽力。日置市では、年末からの復旧作業に当たっている建設業の活動状況を聞いた宮路高市市長が、職員らに緊急出動を指示。元日から、地元建設業者と共に市内幹線道路の復旧作業に当たったほか、指宿市や南九州市、枕崎市や南さつま市でも、各市長の指示を受けた職員らが休日返上し、地元建設業者と共に復旧作

た。連日の復旧作業により一部の地区で制限があるものの、5日現在ではほとんどの幹線道路で通行が可能となった。写真③。

九州経済産業局は26日午後1時30分から、福岡市の同局で住宅エコポイント制度の期間延長と対象拡充に関する事業者向け説明会を開く。参加費無料。定員50人。申し込みは21日まで、所定の申込書に必要事項を記入し、ファクス(092・482・5538)で受け付ける。

11日、安全大会 県建設物解体業連合会(斜木拓会長)は11日午前9時30分から、鹿児島市の護国神社で安全祈願祭および安全大会を開く。

住宅エコポイント説明会 21日まで受付 九州経済産業局は26日午後1時30分から、福岡市の同局で住宅エコポイント制度の期間延長と対象拡充に関する事業者向け説明会を開く。参加費無料。定員50人。申し込みは21日まで、所定の申込書に必要事項を記入し、ファクス(092・482・5538)で受け付ける。

建設業の詳しい情報は...

<http://www.kc-news.co.jp>

業者格付・県・市町村予算・発注予定工事等々 情報は盛りだくさん

お問い合わせ: 099-222-612

無料体験実施中